



西山 大輔

丸紅新電力株式会社
代表取締役社長

古川 宏一郎

横浜マリノス株式会社
代表取締役社長

横浜F・マリノスを応援して 日本の元気と未来のサポーターになる

丸紅新電力と横浜F・マリノスがお届けする「横浜F・マリノス電気(愛称 マリでん)」は、お支払いいただいた電気料金から毎月100円を「応援金」としてプロサッカークラブ横浜F・マリノスに還元し、活動をサポートします。そこで、横浜マリノス株式会社の古川宏一郎代表取締役社長と、丸紅新電力の西山大輔社長による対談が行われました。

サッカーは世界共通のグローバル言語

西山:私たちは電力小売事業を通して健全な心と体をもって生活していただくために必要な仕組みや情報を配信していきたいと考えています。それに直結するのが世界共通のグローバル言語でもあるサッカーだと思います。世界のピッチで活躍する日本人選手にはアイデンティティを感じますし、日本代表を応援する一体感がこの国の活性化に一番必要だと感じます。横浜F・マリノス様がJ1リーグで優勝し世界へ出ていく、それを応援することで日本人のアイデンティティはこういうものだと思える機会にしたいと考えています。

古川:サッカーは本当に世界共通言語だと思います。サッカーを通して世界に目を向け、様々なつながりを広げていきたいと考えファンの皆様も巻き込んで古いユニフォームやボールを集め、海外に送る活動もスタートする予定です。

豊かな日本にいると忘れがちですが、今回のパートナーシップをきっかけに生活インフラ、電力・水など当たり前のようになっているものを意識するきっかけになればと思います。

西山:その通りですね。サッカーを通じて世界を見れば、一人ひとりがこの国の未来を考え、意思決定をして物事を進められるようになり、日本が一層元気になっていけると思います。丸紅新電力はThink Globally, Act Locallyをモットーに世界規模で電力事情を捉え、各地域で最適な電力を取り入れて地域特有の課題の解決に役立てていくため、状況に合わせて大型火力、再生可能エネルギー、分散電源などを提供していきます。

電気を通じて人と社会を元気に

古川:壮大なお話ですね。横浜F・マリノスも外国の選手に魅力を感じてもらえるような発信力や受け入れ態勢はさらに

未来を考える姿勢から生まれる日本の元気

整えていかなければと思います。一方で御社が各地域で最適な電力を取り入れて、地域特有の課題解決に役立てているように、我々は横浜・横須賀・大和をホームタウンとしたクラブですので、支えて下さる地域とのつながり、ファンやスタッフも選手たち同様に大切にしていきたいと考えています。トップチームだけでなく、横浜F・マリノスユース出身で選手としてもプレーした生え抜きのコーチ、20年以上チームのバスを運転して選手たちにとっても信頼されているドライバーなど、かけがえのない人材がたくさんいます。横浜F・マリノスに関わる全ての人に素敵な物語があります。

西山:それはとても興味深いですね。ファンの皆さんは選手の裏側や隠れたストーリーを知りたいと思いますし。ピッチ上以外にも様々なドラマがあることを発信し、サッカーに興味を持っていただく機会を増やしていく。マリでんもそのようなきっかけをつくることができればと思います。

古川:素晴らしいですね。サッカーが、そしてこのマリでんが地域や日本のより多くの方の元気につながればと願っています。横浜F・マリノスも、応援金という皆様からの元気をいただきながら、より魅力的で元気あふれるクラブを目指していきます。具体的には選手がハイパフォーマンスを発揮

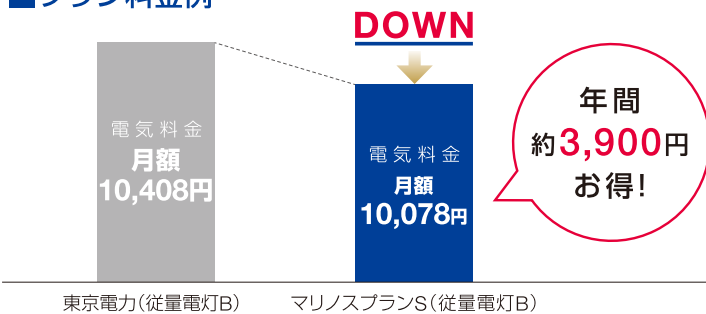
するために健康を維持すること、コーチが食育を広めること、スタジアムで皆様楽しんでいただくことなどで、いただいた元気をお返ししていければと考えています。そういう意味では「日本の電気・日本の元気」をキャッチフレーズにされている丸紅新電力様と目指すところは大変近いと感じています。

西山:このキャッチフレーズには日本の電源を全員で考え、世界の潮流も考慮しながら決めていく、その結果として電気の販売を通じた経済の活性化、社会課題の解決、この国が豊かになるところまでがインフラストラクチャーを担う私たち丸紅新電力の役割であるという気持ちが込められています。その立ち位置をはっきりさせる意味で「日本の電気・日本の元気」と掲げ、それを達成するためにThink Globally, Act Locallyを実践していこうとしています。そのためにも、この横浜F・マリノス様との取り組みはど真ん中と考えています。

古川:大変光栄です。我々にとってJリーグの多国籍チームとしてグローバルな視点を持つことはThink Globally、ホームタウンに貢献するために様々な取り組みを行うことがAct Locallyとなるかと思えます。スタジアムでは観戦だけでなく、サッカー以外の楽しさを感じて頂ける場があります。ぜひたくさんの方々からスタジアムに足を運んで頂きたいですね。これからももっと「横浜・横須賀・大和の元気」に貢献していきたいと思っています。

西山:ぜひ、と一緒に頑張りましょう。今日はどうもありがとうございました。

■プラン料金例



※シミュレーションは、東京電力従量電灯Bと丸紅新電力のマリノスプランS(従量電灯B)において計算・比較したものです。2016年4月以降に従来の各電力会社の契約から変更をしていない場合に適用のある電気需給約款(2018年4月1日時点)に基づく電気料金と丸紅新電力料金メニューの概算の差額です。

※燃料調整額については、2018年4月時点の額を考慮しています。再エネ賦課金については考慮されていません。また、各種割引も適用しておりません。お客様のライフスタイルの変化などによりご使用量が変動した場合、割引幅が縮小したり、現在の契約の方が安くなる場合があります。



横浜F・マリノス電気のご紹介

お支払いいただいた電気料金の一部を「応援金」として横浜F・マリノスの活動を支援します。

■応援金の用途

チームの強化費用や、プロサッカー選手を目指す子どもたちの育成など

マリでんのしくみ

※「マリでん」は横浜F・マリノス電気の愛称です。

横浜F・マリノス



毎月の電気料金から
応援金100円(税抜)

強化費用や、
子どもたちの育成費用など



お客様



丸紅新電力
MARUBENI POWER RETAIL

お申し込みはこちらから

<https://denki.marubeni.co.jp/sports/marinos>
丸紅新電力は横浜F・マリノスを応援しています。

Marubeni
Group